資料１２－１

スポーツ・文化・観光振興施策についての緊急提言（案）

平成２８年７月　　日
全　国　知　事　会

今夏、ブラジルで開催されるリオディジャネイロオリンピックの次は、いよいよ東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会である。そして、そのための準備期間はもう４年しかなく、オリンピック本番に向けた準備・検討は待ったなしの状況である。

そこで、スポーツ・文化・観光振興施策について、以下の事項を緊急に提言する。

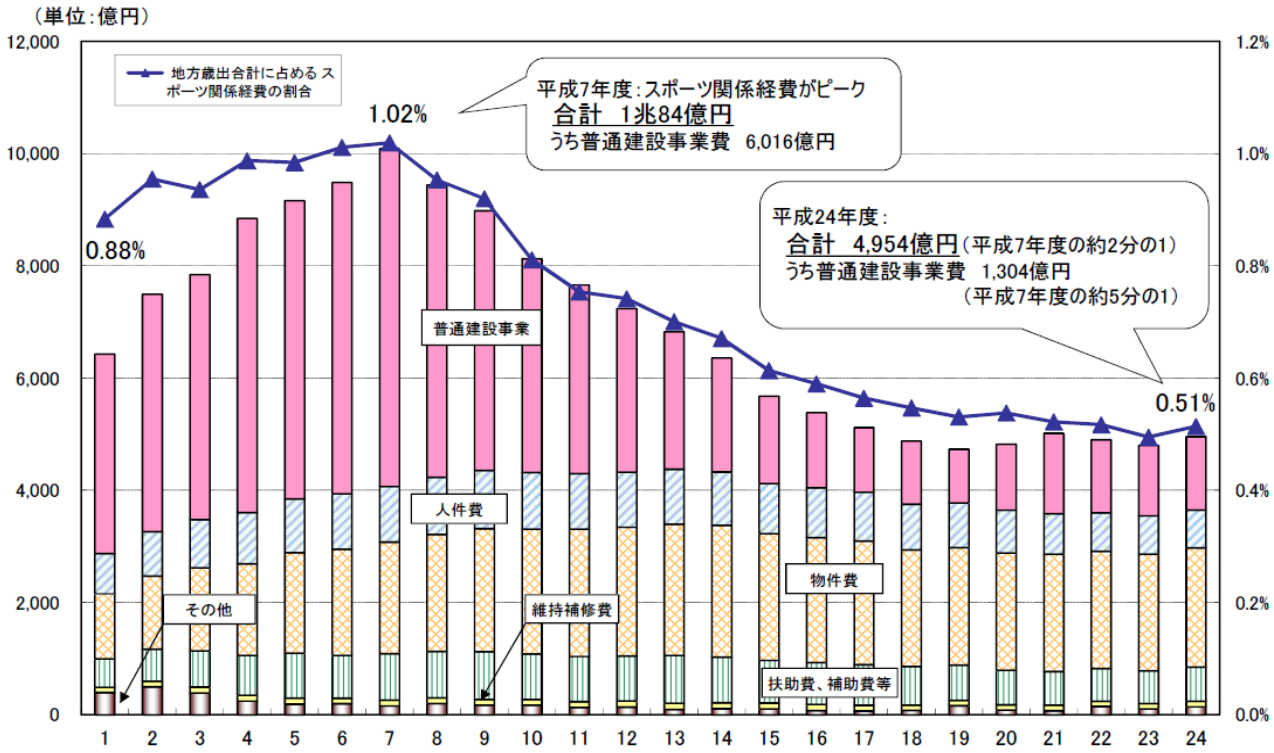
１　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催効果の全国への波及

○　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の追加競技・種目を地方で開催すること。
○　和文化の象徴「きもの」や各地の神話や地域の祭り、伝統芸能、歴史的文化財等を大会開会式等に採用すること。
○　障害者文化芸術振興活動を文化プログラムに位置づけること。
○　大会施設の木質化等により、日本の「木の文化」を世界に発信すること。
○　大会関係者等への地域の食材・特産品等の提供などにより、日本の「食文化」を世界に発信すること。

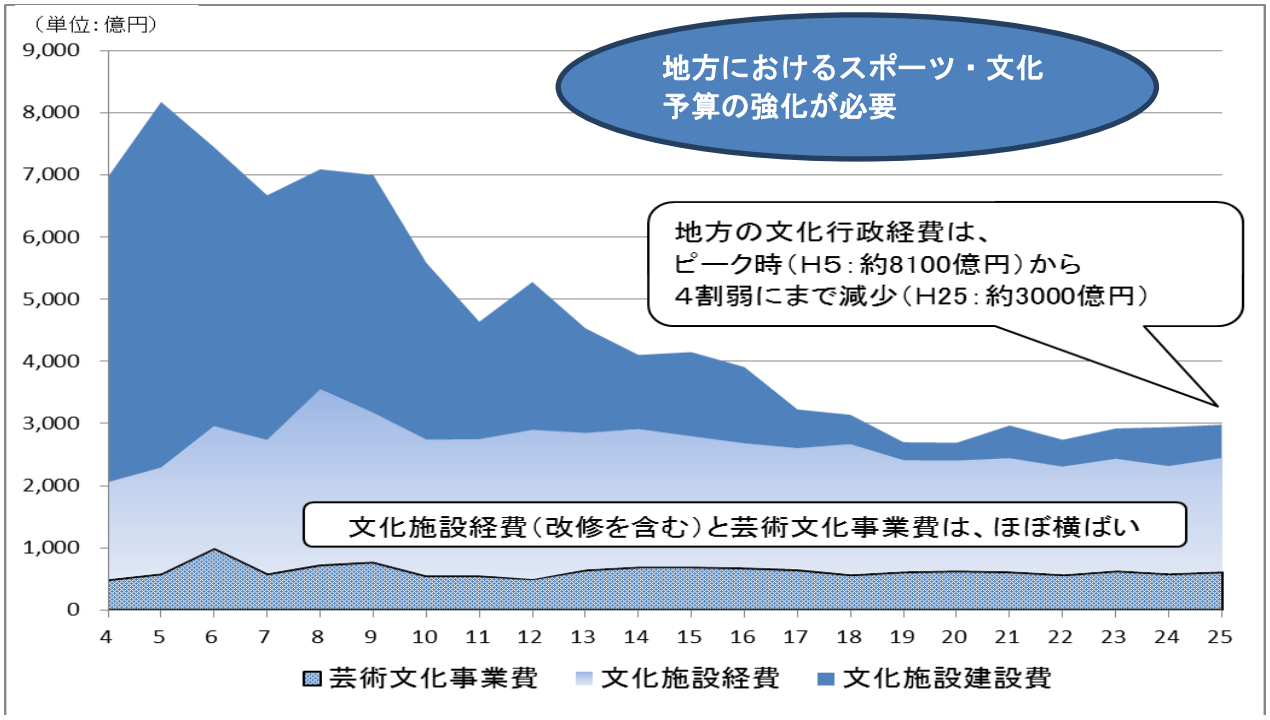
２　スポーツ・文化施策への十分な財政措置等について

○　地方が行う公立スポーツ・文化施設の機能向上や建替等に係る特別な地方債の発行とその償還に対し交付税措置を講じること。
○　宝くじの活用などにより、文化プログラムの実施財源を確保すること。
○　施設整備も含め、国が地方の資源を活かしたトップアスリート・アーティストの育成を行うこと。

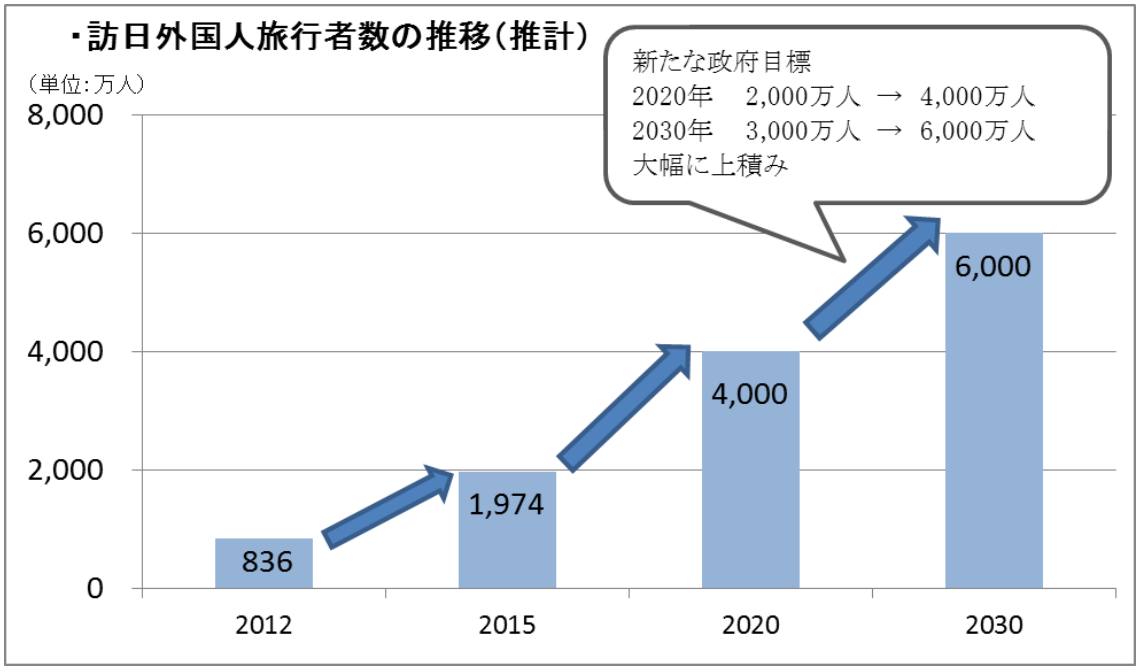
【地方におけるスポーツ振興財源】出典：「(総務省)地方財政統計年報」から文科省作成



【地方の芸術文化経費の推移】出典：「地方における文化行政の現状について」(H25 文化庁)



３　急増する訪日外国人旅行者の取込み等による一層の観光推進

○　地方が積極的に観光施策を実施するための必要かつ十分な新たな税財源を確保すること。
○　入国管理機能拡充など地方空港等の機能強化措置を行うこと。
○　整備新幹線や高速道路などの高速交通網の活用・整備により「地方創生回廊」を完備すること。
○　二次交通の確保など、旅行者の移動手段の確保について措置すること。
○　地方の多様な観光資源をつなぐ広域観光周遊ルートを形成すること。

【訪日外国人旅行者数の推移（推計）】出典：「明日の日本を支える観光ビジョン」
（明日の日本を支える観光ビジョン構想会議）